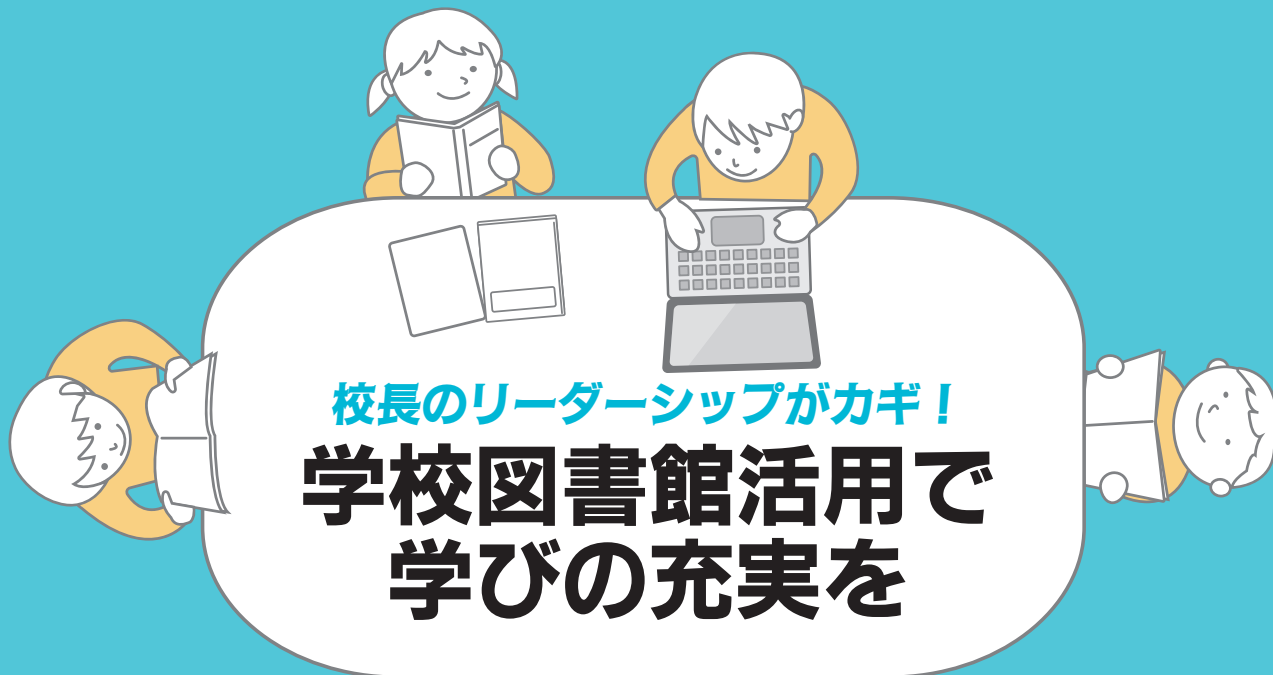


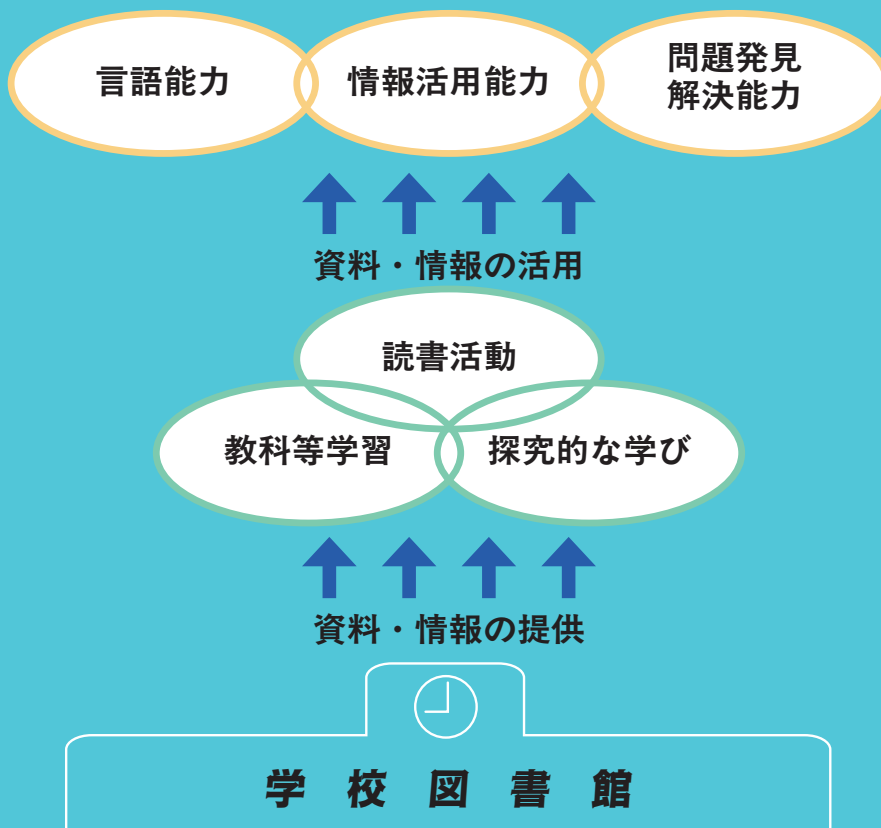
2024年度文部科学省委託事業

「学校図書館の整備・活用を進めるための説明・研修資料の作成」



校長のリーダーシップがカギ！
学校図書館活用で
学びの充実を

校長＝学校図書館長です！！



学校図書館は、資料・情報を提供して
学習の基盤となる資質・能力の育成を支えます

※校長＝学校図書館長と「学校図書館ガイドライン」（文部科学省）には書かれています。



1 学校図書館は、3つの機能を持つ教育のインフラ

インフラとして学校図書館を学校経営に位置づけます

3つの機能

読書センター
読む力の育成
人間性の涵養

学習センター
資料・情報活用で
学習・授業を豊かに

情報センター
情報ニーズへの対応
情報活用能力の育成

- 学校図書館は「学校教育において欠くことのできない基礎的な設備」(学校図書館法)です。
- 校長は「学校図書館の館長」(学校図書館ガイドライン)です。
- 資料・情報の活用により、言語能力や情報活用能力など学習の基盤となる能力・資質を育成します。
- 学校図書館は3つのセンター機能を持っています。

- 学校図書館は各教科、学年にも必要な資料を収集・提供します。つまり、教科横断的に学校全体の教育課程を支えています。
- 学校図書館では、授業等に役立つツールを作成して、印刷物でも端末でも提供します。
例) 作者別・テーマ別ブックリスト／テーマや単元別等のパスファインダー／思考ツール など

学校図書館の資料とは… 本だけでなく、多様な資料・情報があります アナログもデジタルも学校図書館資料です

図書資料	ネットワーク情報資源
雑誌・新聞	ファイル資料
視聴覚資料 (CD、DVD等)	自校独自の資料
電子資料	実物

- 連携で資料確保** (地域公共図書館・郷土資料館 / 博物館 / 美術館 / 音楽堂等)
- 著作権法第35条改正により、補償金を支払えば、ICTを活用して**児童生徒の端末に著作物が送受信できるようになりました** (授業目的公衆送信補償金制度)
※補償金は、教育機関の設置者がまとめてサートラス(授業目的公衆送信補償金等管理協会)に支払っています。
<https://sartras.or.jp/>

学校図書館は資料を提供してすべての授業・学びを支えます！

- 授業で使えるように蔵書配分の比率を考慮した蔵書構築をめざします。自校の蔵書の確認を！

	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	合計 (%)
小学校	6	3	16	10	16	6	5	8	5	25	100
中学校	6	5	16	10	15	6	5	8	4	23	100
高等学校	7	7	16	12	14	6	4	8	7	19	100
自校											100

全国学校図書館協議会制定 (「学校図書館メディア基準」2021.4改訂より)

校長＝学校図書館長です リーダーシップを発揮しましょう

- 学校図書館活用を計画的・組織的に推進するための「学校図書館運営委員会」（名称は各校で異なります）を設けます。これは、館長（校長）を委員長として、教頭・司書教諭・主幹教諭・情報教育担当教員・学校司書・学年代表教員等から構成します。
- 校内全体でどのような力をどう育成するかの共通認識が必要です。全校で検討して、各教科・各学年の年間指導計画をもとに、学校図書館を活用した年間指導計画を作成します（p.5参照）。



2 学校図書館は探究学習の強い味方

学校図書館活用で授業が深まります

もともと学校図書館では本の探し方や著作権などの指導をしてきました。端末の活用でデジタル情報が増えても、情報の指導に変わりはありません。本だけでなく、司書教諭や学校司書は情報の扱いの専門家なのです。

課題の設定

本棚を眺めたり知っていることを話し合ったりするだけでもヒントに。
本当に調べたいこと・知りたいことを見つける手法を提案できます。

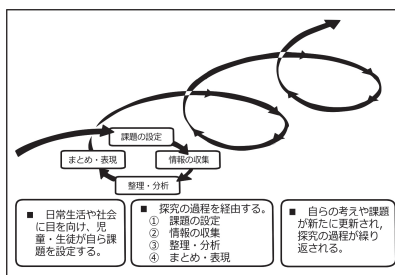
整理・分析

全体の構成や説得力を増すための方法なども相談できます。

思考ツール

課題の設定や整理・分析などの便利なツールも提案できます。

探究的な学習における児童の学習の姿



（小学校学習指導要領（平成29年告示）解説）
（総合的な学習の時間編（文部科学省）より）

※中学校、高等学校学習指導要領も同様の記載があります。

情報の収集

本の探し方だけでなく、Webサイトや体験施設などの相談も。
パスファインダーで調べ方の提示や、Webサイトの検索のキーワードの入れ方なども支援できます。

まとめ・発表

レポートの書き方、プレゼンの方法も提案できます。

著作権、引用

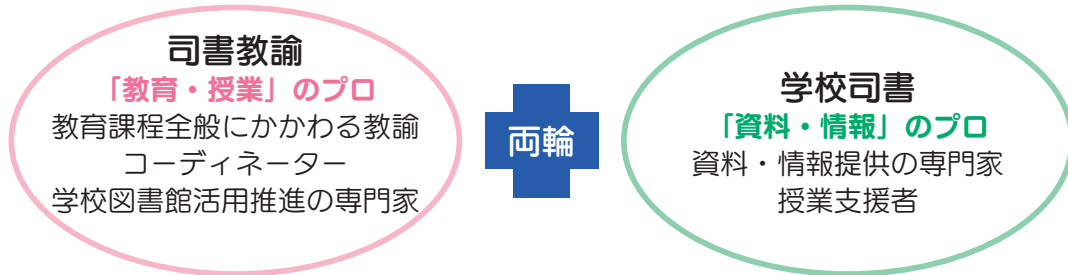
学校図書館は図書資料の著作権だけでなく、デジタル情報やインタビューなども含めた指導をしています。
レポートでの引用の書き方なども、すべての教科に必要なことです。

ほかにもいろいろお手伝いできます。ぜひ学校図書館へ相談してみましょう。学校図書館活用で、より授業が深まっていきます。



3 学校図書館には、「人」の力が必要

司書教諭と学校司書の働きと役割



○「司書教諭」は、教育委員会や校長より、発令された教諭です。

- ・学校図書館経営・運営
- ・教育活動の企画・実施・連絡調整
- ・年間読書指導計画の立案
- ・年間情報活用指導計画の立案
- ・学校図書館を活用した授業の実施と他教員への助言

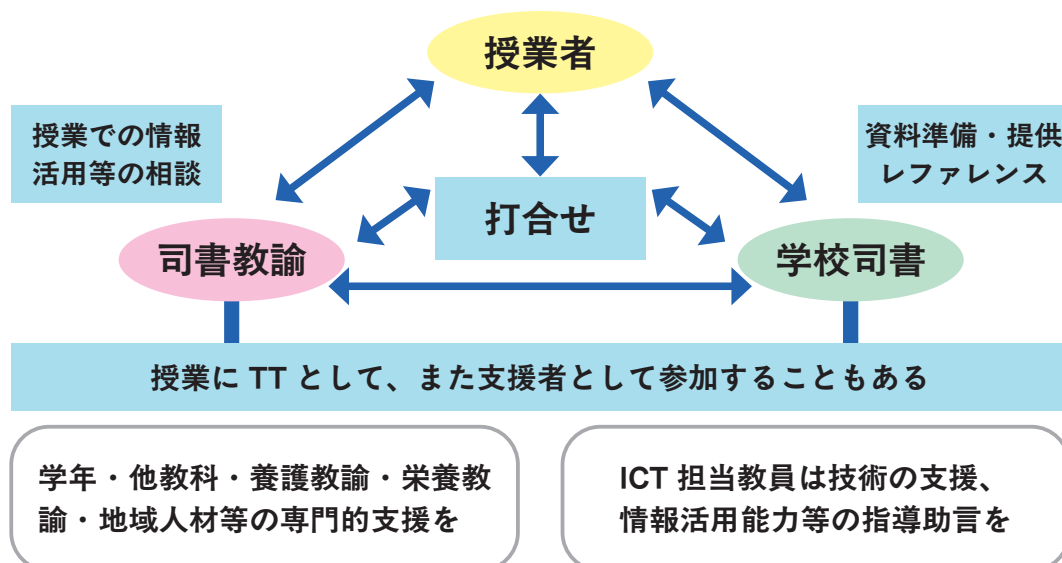
○「学校司書」は自治体や学校が雇用する学校図書館の業務に携わる職員です。

- ・学校図書館運営の専門的・技術職の遂行
- ・学校図書館を活用する授業に司書教諭と共に支援
- ・教育(教科・特別活動・利用指導)への支援
- ・児童生徒教員への閲覧・貸出等
- ・蔵書の収集・管理、施設・設備の整備

司書教諭のほか「図書館主任」もあります。学校図書館教育部の代表者として、司書教諭や学校司書と協働し実務を担当します。司書教諭が図書館主任を兼ねることもあります。

文部科学省の「令和2年度学校図書館の現状に関する調査」では、「学校図書館業務を受託する事業者が雇用する者は」学校司書に「該当しない」と明記されています。(調査依頼書に掲載の「調査質疑応答集」から)

校内ネットワークの協働による授業づくり





4 資料・情報を活用した学びを全校で系統的・計画的に

「読書力」「情報活用力」「課題解決力」の向上へ！

学校図書館担当者を中心に、全教職員で全体計画や学校図書館活用年間指導計画等を立てよう

○学校図書館全体計画作成

学校教育目標を達成するために学校図書館は、どう目標を立て、どのように取り組んでいくか立案します。学校や地域の状況に合わせて計画を立てましょう。一般的な事項を以下にあげます。

学校教育目標、関連法、児童の実態、保護者の願い、地域の実態、教師の願い・指導観、現代社会の要請、図書館教育のねらい、図書館教育指導の重点(学年ごと)、読書活動、特別活動、家庭・地域との連携等

○学校図書館活用年間指導計画作成

いろいろな年間計画があり、各自治体・学校の実態等によりさまざまな形式があります。下記に日々の授業のねらいに探究学習の学びのプロセスを組み込んでいる事例をあげます。

全教科全学年で作成している例（小学校4年生部分表示）

学校図書館を活用した年間指導計画 4年		◆いろいろな種類の本を読み、課題解決に向けて、友達と関わり合い														
重点目標	学校図書館を活用することで身に付けさせたい情報活用能力	育てたい子ども像		探究活動												
		課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	読書活動										
				A 興味・関心に応じて具体的な課題を決める。	B 目的に応じて、複数の資料の中から必要な資料を選ぶ。	C 二つ以上の情報の中から、目的に合ったものを選ぶ。	D 必要な情報を簡条書きで要点をまとめる。	E 相手や目的に応じて適切な表現方法を選んで表現する。	F 自分の考え方が分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じて伝達する。	G 具体的な課題を決め、内容の見通しをもって計画を立て、課題解決でできた振り返る。	H 友達の実践のよさについて意見を述べ合う。	I 並行読書等、発展的な読書により、単元内容を深める。	A3、1枚で一覧性があり、教科横断的な学習が可能に			
教科・領域	特別活動	4月		5月		6月		7月		8・9月		10月	11月	探究活動A～Hに加えて読書活動Iも重点目標に加えます		
		図書館オリエンテーション	なかよし班の計画	なかよし班で行う遊びについて考える	みなな遊ぼう・下田について調べよう	みなな遊ぼう・下田について調べよう	みなな遊ぼう・下田について調べよう	みなな遊ぼう・下田について調べよう	みなな遊ぼう・下田について調べよう	みなな遊ぼう・下田について調べよう	みなな遊ぼう・下田について調べよう	みなな遊ぼう・下田について調べよう	みなな遊ぼう・下田について調べよう		みなな遊ぼう・下田について調べよう	
		総合的な学習の時間		都道府県クイズ	都道府県クイズ	都道府県クイズ	都道府県クイズ	都道府県クイズ	都道府県クイズ	都道府県クイズ	都道府県クイズ	都道府県クイズ	都道府県クイズ		都道府県クイズ	都道府県クイズ
		国語		漢字辞典	漢字辞典	漢字辞典	漢字辞典	漢字辞典	漢字辞典	漢字辞典	漢字辞典	漢字辞典	漢字辞典		漢字辞典	漢字辞典
		社会		都道府県を調べよう	水はどこから	水はどこから	水はどこから	水はどこから	水はどこから	水はどこから	水はどこから	水はどこから	水はどこから		水はどこから	水はどこから
		算数		大きい数のしくみ	折れ線グラフと表	折れ線グラフと表	折れ線グラフと表	折れ線グラフと表	折れ線グラフと表	折れ線グラフと表	折れ線グラフと表	折れ線グラフと表	折れ線グラフと表		折れ線グラフと表	折れ線グラフと表
		理科		天気と気温	季節と生物の様子	季節と生物の様子	季節と生物の様子	季節と生物の様子	季節と生物の様子	季節と生物の様子	季節と生物の様子	季節と生物の様子	季節と生物の様子		季節と生物の様子	季節と生物の様子
		音楽		他府県の天気や気温を調べる	ちいきにつたわる音楽に親しむ	ちいきにつたわる音楽に親しむ	ちいきにつたわる音楽に親しむ	ちいきにつたわる音楽に親しむ	ちいきにつたわる音楽に親しむ	ちいきにつたわる音楽に親しむ	ちいきにつたわる音楽に親しむ	ちいきにつたわる音楽に親しむ	ちいきにつたわる音楽に親しむ		ちいきにつたわる音楽に親しむ	ちいきにつたわる音楽に親しむ
														授業時数、資料リスト、他校や公共図書館からの借用記録、児童生徒の作品の複製・写真等の記録を別紙で蓄積していきます		

○PDC Aサイクルを忘れずに

学校図書館長（校長）は、全教職員に次年度に向けた改善点を記録していくことが、学校図書館の全体計画等を達成できる手立ての一つであることを伝えていきます。また、学校評価の学校図書館の評価項目には、貸出冊数だけでなく学校図書館活用時数を入れたいものです。

情報活用スキルの指導も系統的・計画的に進めましょう

- 資料・情報活用には、例えば右のような情報スキルを教える必要があります。
- これらの情報スキルを、個々の教職員が必要に応じて指導すると、指導内容に過不足がでてきたり、教えるべき順序が前後したりします。
- そこで、何年生のどの教科のどの単元で、どのスキルを教えるか、どのように繰り返し教えて習得・活用・探究のレベルを身につけさせるかを、教科横断的に計画して指導すると効果的です。
- そのために、学校図書館活用年間指導計画を作成すると、全教職員に共通認識が生まれます。
- それには、教科横断的の視点を持ち、多様なメディアの資料・情報を収集・提供している学校図書館が役に立ちます。

〈情報活用スキルの例〉

- ・テーマの設定方法
- ・調べ方の選択
- ・図鑑・年鑑等の使い方
- ・Web 検索の仕方
- ・Web ページの評価の仕方
- ・抜書き・要約・引用の方法
- ・情報カードの書き方
- ・思考ツールの使い方
- ・新聞の見方・作り方
- ・レポートの書き方
- ・パワーポイントの作り方
- ・発表、評価の方法
- ・学習プロセスと成果の評価



5 特別な支援を要する子どもたちへの配慮

すべての児童生徒が、自分にあった手段で、本を読んだり情報を得たりすることが必要です。特別支援学校だけでなく、特別支援学級のある学校もあります。さらに通常の学級にも学習や行動に困難のある発達障害の可能性のある児童生徒が8.8%存在します（文部科学省発表2022年）。さまざまな障害のある人が利用しやすい形式で本にアクセスできるようにすることを目指し、通称「読書バリアフリー法」（2019年）が成立しました。また、通称「教科書バリアフリー法」（2024年）が改正され、日本語指導が必要な外国籍・日本国籍の児童生徒にも教科書のデジタルデータを使用して学習することができるようになりました。

学校図書館は、一人ひとりの読書や情報獲得の困難から生じてくる必要性に応じて、多様なメディアや支援を適切に提供していきます。

学校図書館にありますか？

読むための補助具

リーディングトラッカー

本文の上に重ねることで、上下や左右の行が隠され、読みたい1行だけが透過して見え、視点を集中させて読むことができます。だれでも集中して読書したい時に活用できます

リーディングルーペ

リーディングトラッカーと同様に使え、文字が拡大されます

読むための資料

大活字本

LLブック：LättLäst（easy to read）スウェーデン語で「だれでもやさしく読める本」です。難しい漢字、長文はなく、ふりがなや絵文字、わかりやすい写真等もあります

点字図書・点訳絵本

手話付き DVD

布の絵本・さわる絵本

多言語電子絵本・図書

DAISY 図書：Digital Accessible Information System 「アクセシブルな情報システム」の略称。

- ・音声 DAISY（録音図書）：図写真の説明、目次やページ情報もあり、音声の速さの変更も可能です
- ・マルチメディア DAISY 図書：文字や画像をハイライトしながら、その部分の音声といっしょに読むことができます。文字の大きさや背景の色も変えることが可能です



りんごの棚

スウェーデンの図書館でスタートした、特別なニーズのある子どもたち用にさまざまな情報や資料が集められ、使いやすいように工夫された棚のこと。

日本でも「りんごの棚」を設置する学校図書館が増えてきています。さまざまな形式の資料を1か所に集めることで、特別支援を必要とする児童生徒が利用しやすく、楽しむための手助けとなっています。

<https://appleshelf.jp/>



6 AIと生きる時代、すべての土台が言語能力・読解力

AIの急速な発展の中で、人間の強みを発揮するための基盤が言語能力・読解力です。年齢に応じて語彙を増やし、想像力、論理的思考力、表現力等を伸ばしていくことが重要です。情報を活用するにも言語能力が基盤となります。今、言語能力の育成は学校教育における最大の課題です。全教科・全教育活動を通じて、言語能力育成に取り組む必要があります。そのために、学校図書館を核にしなが、全職員で言語能力を育成していきます。

「紙の本」か「電子書籍」か… 考慮しましょう 発達段階と健康面！

世界中の脳科学者・発達認知研究者が、深い思考は紙だからこそ獲得できる。紙には操作性があり、視覚、触覚、聴覚等の刺激が記憶にも影響力をあたえ、集中力も勝ると発言している。

世界では、端末重視で学力低下傾向があるとして、紙や手書きへの回帰が見られはじめています。

子どもたちが、将来、紙とデジタルと使い分けができるように、学齢が低いうちは紙の経験を十分にさせましょう。そして、読む力も、思考力もつけられるようにしていくことが大切です。

デジタルの使い過ぎで目や身体、心に影響がでる VDT（Visual Display Terminal）症候群などを発症する、健康によくないという調査結果もあります。

情報を得る、情報をまとめる、動画の活用などの道具としては端末を活用し、集中力、深い思考力、想像力を養うために、読書は紙で行っていくことで、端末に向かう時間の軽減も図れます。

【参考】

- 『チョムスキーと言語脳科学』酒井邦嘉／著 集英社インターナショナル 2019年（東京大学大学院教授・言語神経科学）
- 『オンライン脳：東北大学の緊急実験からわかった危険な大問題』川島隆太／著 アスコム 2022年（東北大学加齢医学研究所所長）
- 『スマホ脳』アンデシュ・ハンセン／著 新潮社 2020年（スウェーデン・精神科医）
- 『プルーストとイカ：読書は脳をどのように変えるのか？』2008年 『デジタルで読む脳×紙の本で読む脳：「深い読み」ができるバイリテラシー脳を育てる』メアリアン・ウルフ／著 インターシフト 2020年（カルフォルニア大学・発達心理学／ディスレクシア・多様な学習者・社会的公正センター所長）
- 『ペーパーレス時代の紙の価値を知る：読み書きメディアの認知科学』柴田博仁ほか／著 産業能率大学出版部 2018年（群馬大学情報学部教授）
- 『AIに負けない子どもを育てる：21st Century Children』新井紀子／著 東洋経済新報社 2019年（国立情報学研究所教授、同社会共有知研究センター長）

さらに、前へ一歩

- 日常的に校内巡視して、学校図書館の利用状況を把握しましょう
- 学校図書館を授業で活用できるように学校図書館整備を進めましょう
- 司書教諭や学校司書が活動しやすいように、配慮しましょう（例えば、授業持ち時間数削減による活動時間の確保、打合せ時間の確保など）
- 学校図書館全体計画、学校図書館経営計画を活用しましょう
- 学校図書館を組織的に運営するために「学校図書館運営委員会」（呼び方は学校による）を設けましょう
- 読書センターだけでなく、学習センター、情報センターとしての機能の活用を進めましょう
- 自校の教育目標達成のために、校長のリーダーシップで学校図書館活用を進めましょう

2024年度文部科学省委託事業

「学校図書館の整備・活用を進めるための説明・研修資料の作成」

校長のリーダーシップがカギ！ 学校図書館活用で学びの充実を

2025年2月28日 発行

編著者 公益社団法人全国学校図書館協議会指導主事研修委員会
発行所 公益社団法人全国学校図書館協議会

〒113-0034 東京都文京区湯島3-17-1 湯島大同ビル
TEL.03-6284-3722(代) FAX.03-6284-3720
<https://www.j-sla.or.jp/>